

TECHNICAL DATA

種類	ロックウール粉じん飛散防止処理工法 (表面固化)
工法名	ロックシール工法R (吹付け仕様)

適用範囲： アスベストを含まないことが証明された吹付けロックウールの粉じん飛散防止処理工事（表面固化工事）に適用する。

第4版 作成日：2020年 12月 1日



菊水化学工業株式会社

施工仕様書

種類：ロックウール粉塵飛散防止処理工法（表面固化）

工法名：ロックシール工法R（吹付け仕様）

1. 適用範囲

- 1) アスベストを含まないことが証明された吹付けロックウールの粉じん飛散防止処理工事（表面固化工事）に適用する。
- 2) 下地の条件として、吹付けロックウールの密着の程度が良い物を対象とする。
 - * 浮きや、大きな欠損やはらみのある場合は適用しない。事前の下地確認をすること。
 - * 本工法の適用条件として、現場毎にアスベストを含有していない分析証明の提示・掲示をすること。
 - * アスベスト含有の場合は本工法、材料は適用できません。

2. ロックシール工法R（吹付け仕様）に使用する材料荷姿及び標準施工面積

材料	用途	荷姿	所要量 (kg/m ²)	標準施工面積 (m ² /缶)
ロックシールR2	表面固化・美装	18kg/缶	0.6~1.0	18~30 m ² /缶

3. 施工仕様

(23℃)

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間 (hr)	所要量
1	準備	施工計画書作成、書類確認、資材手配等を行なう。			
2	仮設	休憩場、工事看板、分析証明書、工事柵などの設置を行なう。			
3	養生	床・壁等の養生を行なう。			
4	足場	足場掛け等を行ない、機材を設置する。			
5	素地補修	小さな傷・ほつれ等は押さえて補修する。欠損等大きな補修は別途工事で行なう。			
6	表面固化	ロックシールR2 主材：18kg 清水：0.9~1.8L	エアレススプレー	2	工程内 2以上 0.6~1.0kg/m ² 18~30m ² /18kg (2回での量)
7	片付け 清掃	装置、足場等を片付け、ゴミ等を清掃する。			
8	廃材 処理	収集運搬業者に廃材を引き渡し、マニフェストを発行する。			
9	検査	全工事完了後の関係者による検査を行ない、できばえを記録する。			

※所要量を厳守してください。塗付量過多になると剥落の可能性が生じます。

4. 使用備品・機械・器具

- (1) 仮設資材：休憩所、安全柵、工事看板等
- (2) 足場：単管足場、ローリングタワー、脚立
- (3) 養生資材：養生シート、接着テープ等
- (4) 表面固化材塗布：エアレス塗装機
- (5) 清掃用具：真空掃除機、ラスタ―刷毛、ほうき等

5. 工法

5-1. 準備

- (1) 施工計画書等書類を準備確認する。
- (2) 材料・資材の準備を行なう。
- (3) 仮設、足場等の手配をする。

5-2. 養生等

- (1) 床面の養生を行なう。
- (2) 足場掛けを行なう。
- (3) 壁面の養生を行なう。
- (4) 蛍光灯、配管等の養生を行なう。

5-3. 素地補修

- (1) 小さな傷・ほつれ・毛羽立ち等はコテ・ローラー等で押さえて補修する。
- (2) 浮きがある部分、欠損等大きな補修は、性能の回復が必要なため別途工事で行なう。

5-4. 表面固化

- (1) 吹きムラ、だれ、塗り残しのないように吹き付ける。
- (2) 所要量 $0.6\text{kg}/\text{m}^2$ （適度な着色ができる程度に）を2回に分けて吹き付ける。

5-5. 片付け・清掃

- (1) 蛍光灯・配管・壁面の養生シートを解除する。
- (2) 装置、足場等を片付け、床面を清掃する。

5-6. 廃材処理

- (1) 使用済みの養生シート等廃材は、認可を受けた廃材処理業者に処理を依頼する。
- (2) マニフェストを発行する。
- (3) マニフェスト返票を確認する。

5-7. 検査

- (1) 全工事完了後の関係者による検査を行なう。
- (2) できれば記録を作成し、承認を受ける。

6. 注意事項

- (1) 防じんマスク、保護メガネ、ヘルメット等を着用し、労働安全衛生に努めること。
- (2) 低温により施工性が悪くなるため、5℃以下での施工は避けること。
- (3) 密閉した作業場内ではエンジン式の動力等は使用しないこと。
- (4) 材料は、直射日光下及び0℃以下での保管は避けること。
- (5) 事前の下地確認に不備があった場合、剥落する危険があります。

成分表

ロックシールR2

内 容	重 量 (%)
無機質高分子シリカ	20~25
合成樹脂エマルジョン	10~15
白色及び体質顔料	45~50
添加剤 (安定剤, 消泡剤, 界面活性剤等)	1~5
水	10~15
計	100

性能試験成績書

種類	ロックウール粉じん飛散防止材	
製品名	ロックシールR2	
供試材料	<p>【基材】 合板にロックウールを吹付けたもの； 作業性・付着強さ・耐衝撃性の試験に使用 スレート板； 耐水性・促進耐候性の試験に使用</p> <p>【薬剤】 ロックシールR2</p>	
試験方法		
項目	試験概要及び品質規定	結果
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になること (JIS K 5600. 1. 1)	合格
粘度	BH形粘度計 (4号ローター・20rpm) 3,300±700 mPa・s (23℃)	3,300 mPa・s
密度	比重瓶による計測 (JIS K 5600. 2. 4) 1.60±0.15 g/cm ³	1.60 g/cm ³
作業性	エアレス塗装機による塗装作業が良いこと	合格
耐衝撃性	建築基準法第 37 条第二号 石綿飛散防止剤の 品質に関する技術的基準 衝撃試験	合格
付着強さ (標準状態)	建築基準法第 37 条第二号 石綿飛散防止剤の 品質に関する技術的基準 付着強度試験	4.89 N/cm ² 破断深さ：20mm
耐水性	常温水中10日間浸漬で膨れ・剥がれ等のないこと	合格
促進耐候性	キセノンウェザーメーターで300時間試験後、 変色等の異常のないこと	合格
—以下余白—		

* 上記数値は代表値であり、製品の数値等を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。